

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	児童福祉問題調査等事業		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度		担当課室	総務課		伊藤 善典		
会計区分	年金特別会計 児童手当及び子ども手当勘定		施策名	Ⅲ-1-4 児童の健全な育成及び資質の向上に必要なサービスを提供すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2		関係する計画、通知等	児童福祉問題調査研究事業費等の国庫補助について(厚生事務次官通知 H10.4.23 厚生省発児第81号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	児童の福祉に関する諸問題について総合的に調査研究を行うなど、児童の健全な育成と資質の向上に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①児童福祉問題調査研究事業 子どもや家庭の医療、保健、福祉、社会環境等の諸問題について総合的な調査研究を行う。 ②子ども家庭福祉情報提供事業 子どもや家庭に関連する行政や民間団体等の取組や、研究成果等を継続的に把握、分析し、インターネットにより提供する。 ③母子保健要員研修等事業 医師、保健師等、検査技術者など母子保健医療に携わる者が最新の医学、技術を体得するための研修の実施や、母子保健情報誌の編集、発行等を行う。 ④代謝異常児特殊ミルク供給事業 先天性代謝異常に罹患している児童に対し、特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等を行う。 ○実施主体：(社福)恩賜財団母子愛育会、民間企業 ○補助率：定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	351	357	354	353	352	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	351	357	354	353	352	
	執行額		351	357	354			
執行率(%)		100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	子どもや家庭の医療、保健、福祉、社会環境等の諸問題について総合的な調査研究や子ども家庭福祉に関する情報提供を行う事業であり、定量的な成果目標を示すことは困難である。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	子どもや家庭の医療、保健、福祉、社会環境等の諸問題について総合的な調査研究や子ども家庭福祉に関する情報提供を行う事業であり、定量的な活動指標を示すことは困難である。		活動実績		-	-	-	-
			(当初見込み)		-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	-		(円/ )	算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	事務費、事業費	353	352					
	計	353	352					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>「子ども・子育てビジョン」の柱のひとつでもある「安心して子育てできる社会」を実現する上で、子どもや家庭の医療、保健、福祉、社会環境等の諸問題について総合的な調査研究や子ども家庭福祉に関する情報提供は重要である。  特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等については、先天性代謝異常に罹患している児童にとっては生命に関わる重要な事業である。  また、各点検事項による評価も概ね妥当であると考えられる。  よって、児童の健全な育成と資質の向上に資するという観点から、本事業は必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>児童福祉問題調査等事業については、事業の必要性や執行の観点からは適切であるが、積算内容を精査の上、効率的な執行が図られるよう見直すこと。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>諸謝金及び旅費の単価の見直し、縮減を行った。(反映額:▲0.4百万円)</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

厚生労働省  
354百万円

〔書類の審査、交付決定〕

↓  
【補助】

A.法人(4社)  
354百万円

子どもや家庭の医療、保健、福祉、社会環境等の諸問題について総合的な調査研究や子ども家庭福祉に関する情報提供、特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.(社福)恩賜財団母子愛育会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	児童福祉や母子保健の推進のための諸謝金、賃金、旅費、印刷製本費、雑役務費等の経費	226			
事業費	児童福祉や母子保健の推進のための諸謝金、賃金、旅費、購入費、印刷製本費、通信運搬費等の経費	57			
計		284	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社福)恩賜財団母子愛育会	子どもや家庭の医療、保健、福祉、社会環境等の諸問題について総合的な調査研究や子ども家庭福祉に関する情報提供、特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等	284	—	—
2	雪印乳業株式会社	特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等	37	—	—
3	明治乳業株式会社	特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等	28	—	—
4	森永乳業株式会社	特殊ミルクの安定的な供給体制を整備するための必要量の確保、品質の管理等	5	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					